

研究に関するお知らせ（情報公開文書）

患者様・ご家族の皆様へ

当院では、患者様の頭部 CT 検査における放射線被ばくの低減を目的とした研究に取り組んでおります。本研究は、既に実施された検査の記録を用いて行うものであり、患者様お一人お一人に個別に説明し、同意書をいただく形式ではなく、下記の内容を公開することで研究へのご協力をお願いする「オプトアウト」という方法を採用しています。ご自身の情報が研究に用いられることを望まれない場合は、下記の窓口までお申し出ください。その場合、研究対象から除外いたします。

1. 研究課題名

当院頭部 CT 撮影時における患者被ばく低減方法の検討

2. 研究の目的

当院の頭部 CT 撮影における被ばく線量の状況について、2025 年度の見直しにより、診断参考レベル（全国の医療機関を対象とした調査に基づき設定される、被ばく線量の目安となる基準値）を超えて検査を行っている場合があることが分かりました。撮影方法を見直し、必要な画質を保ちながら被ばく線量を診断参考レベル内に低減させることを目的としています。

3. 研究の対象となる方

令和 7 年 8 月から 12 月までの間に、当院で頭部 CT 撮影を受けられた患者様。

4. 利用する情報の内容

以下の情報を、診療録（カルテ）および画像保管システム（PACS）から収集します。

- 撮影日時、撮影条件（管電圧・管電流・撮影時間等）
- 線量に関する指標（CTDI、DLP など）

収集した情報は、患者様のお名前や住所など、個人を直接特定できる情報を除いたうえで集計・分析します。分析用のデータには、氏名の代わりに研究用の番号を用い、対応表は研究責任者が

施錠可能な場所で厳重に管理します。

5. 研究の方法

各患者様の撮影条件と線量指標を（PACS）画像保管システムから収集して比較し、線量が高くなる傾向のある要因を分析します。分析結果を踏まえて撮影方法（条件）の見直しを検討し、必要に応じて改善後の撮影条件による検査記録もあわせて評価いたします。検査そのものの追加実施や、通常の診療で行う検査内容の変更を伴うものではありません。

6. 研究に参加されることで生じる負担・不利益

本研究は既存の検査記録を用いるものであり、研究のために新たな検査や来院をお願いすることはありません。そのため、身体的な負担が生じることはありません。情報の取り扱いについては個人情報保護に十分配慮し、研究以外の目的には使用いたしません。

7. 研究への協力を望まれない場合（オプトアウト）

本研究へご自身（またはご家族）の情報が用いられることを望まれない場合は、下記のお問い合わせ窓口までお申し出ください。お申し出をいただいた場合、その時点で研究対象から除外し、以後の分析には情報を使用いたしません。なお、既に集計・分析が完了しデータが匿名化された後の申し出については、当該データの特定・除外が困難な場合がありますことをご了承ください。

研究に協力されない場合でも、今後の診療上、一切の不利益を受けることはありません。

8. 個人情報の保護

収集した情報は厳重に管理し、研究成果を学会や院内で発表する際も、患者様個人が特定されない形（集計値・統計値等）で公表いたします。

9. 研究組織・お問い合わせ窓口

| | |
|---------|-------------------------------|
| 研究実施施設 | 医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院 |
| 研究責任者 | 所属：放射線部 氏名： 金城 辰秀 |
| 問い合わせ窓口 | 放射線部（内線：1180 / 受付時間：平日9時～17時） |

本研究は当院倫理委員会の承認を得て実施しています。研究内容の詳細やご質問等がございましたら、上記窓口までお気軽にお問い合わせください。